

かえっている。	III	のたいこ
---------	-----	------

状態の結果			
学年	文 例	ページ	題材名
1			
2	今いちばん はや っているようふく ～ 三つ子はそのうち どうしているかわ かりません。	71 108	きつねの 子のひろ ったてい きけん
上	人たちは「みか んの木の寺」とよ でいました。	4	みかんの 木の寺
	きょうはもうなく なっているのです。	11	
	年をとってくたび れていました。	26	きかん車 やえもん
	きょうはそれさえ わすれていました。	31	
	知っているのです。	56	
南の木がじゃまに なっているね。	60	小さなか みさま	
てっぺんのみのな っているところま で～	63		
雪にまけてはいま			雪国の子

	せん。	77	どもたち
下	このはなばくにに ているだろう。	96	おかあさ んの顔
	とりまいていたよ。	99	雪かきぼ うき
	あきらめたような 顔をしていたくせ に～	11	子牛の話
3	えさをさがすため に外に出ていたは たらきあります。	29	ありの行 列
	はじめのありがす に帰るときに通っ た道すじがはずれ ていないのです。	29	
	ゲラゲラ笑ってい るだけです。	50	子ども ころのファ ーブル
	上着は着ていなく てシャツだけでした。	57	
	もう太陽はとっく に森のむこうにし ずんでいました。	70	
声はぱったりやん でみょうにしいん とじています。	72		
見はりでもしてい るように～	72		
	わたしたちの学校 をひやかしていま		